

ウロンゴン大学川崎研修 研究成果発表会

毎年、1月から2月にかけて行われていましたウロンゴン大学川崎研修が、今年は6月30日から7月19日にかけて行われました。研修最終日の発表会で報告された作品の中から、今年は次の2作品を紹介いたします。



日本の生活について

エリン・ロビンソン

今日は日本の生活についてお話したいと思います。

私は、変化の多い日本生活様式に興味があります。それで、日本にいる間に、現在の日本生活様式と古代の生活様式について研究してみました。

このテーマについて研究した一つの理由は、昔の日本に興味があるからです。もう一つの理由は、西洋の生活様式がどのように日本に影響を与えているか興味があるからです。さらに、現在、大学で経済を勉強しているので、日本の土地が非常に高い値段だと留ったことに関心をもったからです。

研究をするために、いろいろな資料を使うようにしました。たとえば、橋高校や住吉小学校や専修大学や住吉老人ホームで会った人たちにインタビューしました。いろいろな所からの情報を使ったので、伝統的な家について別々の意見をもらったのは、とてもおもしろかったです。そのほか、私は、いろいろな不動産の広告を集めたり、不動産業者に行ったりしてみました。私のホストのお母さんとお父さんに、たいへん助けていただきました。

まず、私のホストのお父さんは、昔の生活様式がわかる、川崎の日本民家園につれて行ってくださいました。初めて日本の古代の生活様式を見たので、深く感動しました。家の建て方は、とても難しそうに見えました。家を建てるのに、長い時間がかかる印象を受けました。私の日本のお父さんは博物館を案内してくれたので、多くのことを学びました。日本で、大昔から現代まで、建築もどんどん変わったので、珍しい家を見るのは楽しかったです。こういう伝統的な家を保護するのは、とても大切だと思います。日本に泊まっている間に、いろいろと日本の生活を経験したことは、おもしろくて楽しかったです。

畳で正座して、ひざで立たなければならないとき、足が少し痛くなりました。

専修大学の学生に、洋室のほうが和室より好きかどうか聞きました。だいたいの学生は、洋室のほうが和室より好きだと言いました。その理由は、洋室のほうが和室より便利だからです。ところが、住吉老人ホームでは、たくさんのお年寄りも、和室のほうが洋室より体にいいと言いました。ホームステイでは、洋室に泊まりました。洋室になれているので、とてもよかったです。

東京では、たくさんの人々は仕事をしている都心から家まで遠いので、びっくりしました。私も毎日電車で、家から国際交流センターまで40分くらいかかりました。電車の中がとても混んでいましたから、びっくりしました。たいへんでした。でも、これもいい経験だと思いました。

日本の文化や伝統的な家が大好きなので、これらや日本の習慣を保護することはとても大切だと思います。また、日本の生活をもっともっと体験するために、将来、日本にまた戻りたいと思います。

お世話になりました、ありがとうございました。

* * * * *



旅行について

ロネル・ハート

今日、私は、旅行についてお話しします。私は、旅行することが大好きです。いろいろな人々に会うことが好きで、外国の文化と外国語に興味があるので、日本人の旅行に対する興味について研究しよう決めました。日本にいる間に、いろいろな人々と話しました。

まず、専修大学に行った時、学生と話しました。旅行の経験とか、行きたい国とか、習っている外国語について聞きました。大学生は同じ年齢なので、経験とか将来の計画について話すのが楽しかったです。オーストラリアの若者と日本の若者は、旅行に対しての興味が似ていると思いました。オーストラリアは大きい国だから、オーストラリア人はよく国内旅行をします。

オーストラリアの学校では、日本に比べてもっといろいろな外国語を習うことができるので、外国語を学ぶこ